

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	プロダクトデザイン実習1	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	1 年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	開講時間	火曜1時限～	授業形態	実習
教科書/教材	教科書：プロダクトデザインのための製図／参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	濱西 邦和		実務経験の有無・職種	有・デザイナー	
学習目的					
この科目を受講する学生は、基礎的なプロダクトデザインの製図の技術を修得します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ製図の知識と技術を学び、製図用具の正しい使い方と三面図の理解と製図の方法を身に着けるようになります。プロダクトデザインの「製図」に関連する知識と技術を理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生が、プロダクトデザインの基礎製図を学び、製図規格・用具・製図法・図法・寸法・作例・実例のカテゴリーからプロダクトデザインの製図を理解して、社会で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的に 図面の概念、図面の種類、製図用具の使い方、線の練習を理解して、三面図の製図ができるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、教科書の内容に沿って、講師からの解説を受けます、製図道具の使い方から線の種類、図法、作例のトレースと段階的に基礎的なプロダクトデザインの製図する授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「プロダクトデザインの製図力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「プロダクトデザイン基礎製図」を自分自身の実践し、活用できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、学生に基礎的なプロダクトデザインの製図から、プロダクトデザインに触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。作図の仕方、表現法を知り、今後、現場で求められる３ＤＣＡＤの修得に推移を考えた前段階の実習になります。ただし、授業時数の４分の３以上出席しない者はこの科目合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（１回～１５回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
１回	図面の概念 製図用具の使い方		図面の概念を知る		
２回	線の種類		線の種類を把握する		
３回	三面図作成(ブロック)		各種ブロックの三面図を把握する		
４回	三面図作成(ブロック)		各種ブロックの三面図を把握する		
５回	三面図作成(ブロック)		各種ブロックの三面図を把握する		
６回	三面図作成(ブロック)		各種ブロックの三面図を把握する		
７回	スツール - 三面図		作例スツールを製図する - 三面図について理解する		
８回	スツール - 三面図		作例スツールを製図する - 三面図について理解する		
９回	コーヒーカップ - 三面図		作例コーヒーカップを製図する - 三面図について理解する		
１０回	コーヒーカップ - 三面図		作例コーヒーカップ を製図する- 三面図について理解する		
１１回	家電製品 - 三面図		作例家電製品を製図する - 三面図について理解する		
１２回	家電製品 - 三面図		作例家電製品を製図する- 三面図について理解する		
１３回	テーブル - 部品図		作例テーブルを製図する - 三面図について理解する		
１４回	テーブル - アセンブリ図		作例テーブルを製図する - 三面図について理解する		
１５回	すべての図面完成		全体のまとめ		